

# 北九州市環境基本計画 進捗報告について (令和4年度実績)

## 【報告事項】

政策目標1 市民環境力の更なる発展と  
すべての市民に支えられた「北九州環境ブランド」の確立

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと  
環境・経済・社会の統合的向上

## 【各分野別計画による報告】

政策目標2 2050年の超低炭素社会とその先にある脱炭素社会の実現

政策目標3 世界をリードする循環システムの構築

令和5年11月14日  
環境局

1

## 1 総合評価

○政策目標1及び4について、北九州市行政評価を活用して、主要事業を

- ・大変順調 (成果指標達成率 120%以上)
- ・順調 ( // 60%以上～120%未満)
- ・やや遅れ ( // 40%以上～60%未満)
- ・遅れ ( // 40%未満)

の4段階で評価。

○評価の結果、「大変順調」は11.6%、「順調」は86.0%、「やや遅れ」が3.0%。

政策目標	事業数	大変順調	順調	やや遅れ
1 市民環境力の更なる発展と すべての市民に支えられた 「北九州環境ブランド」の確立	36	3 (8.3%)	32 (88.9%)	1 (2.8%)
4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと 環境・経済・社会の統合的向上	20	5 (25.0%)	15 (75.0%)	0 (0.0%)
合計	56	8 (14.3%)	47 (83.9%)	1 (1.8%)

※やや遅れは「長野緑地を利用した農業体験教室」(建設局)で、コロナ禍後も参加者数(985人)が目標の半分程度にとどまったもの。

2

## ○タカミヤ環境ミュージアムの管理運営

本市の環境学習・環境情報・環境活動の総合拠点であるタカミヤ環境ミュージアムにおいて、公害克服の歴史や身近なエコライフ、地球環境問題などを分かりやすく紹介。令和4年度は、地球温暖化やカーボンニュートラルをテーマに、一部展示をリニューアル。利用者は、コロナ後回復傾向にあり、目標130,000人に対し約75,000人まで回復。

## ○北九州エコライフステージの開催

市民団体や事業者などで構成する実行委員会を中心にして、エコライフの浸透を目指し、様々な環境活動の実践者の発表の場であるエコライフステージの他、通年で様々な環境活動を実施。

### <エコライフステージ2022>

- ・開催日 令和4年11月19日(土)～20日(日)
- ・会場 勝山公園大芝生広場
- ・テーマ みんなで一緒につくろうよ。  
脱炭素社会・私たちの北九州。

### <地域の環境活動支援事業>

- ・通年事業(まち美化、環境学習、企業の環境イベント等)
- ・会場 市内一円

### <参加者数>

- ・エコライフステージ、地域の環境活動で約90万9千人



3

## ○北九州市環境首都検定の実施

環境学習の機会を増やし、環境意識のレベルアップや環境に関心を持つ市民の裾野を広げることなどを目的に、平成20年度から「北九州市環境首都検定」を実施。令和3年度から、ジュニア編、中高生編、一般編、上級編の全区分でWEB受検を開始。令和4年度は、目標5,500人に対し5,751名が受検、2,533名が合格。

- ・開催日 令和4年12月11日(日)10:00～11:00
- ・会場 西日本総合展示場、市民センター(志井、島郷)、環境ミュージアム
- ・受検者数等

	受検者数	5,751名	合格者	2,533名
【内訳】ジュニア編	3,537名		1,838名	
中高生編	1,303名		192名	
一般編	830名		468名	
上級編	81名		35名	



## 政策目標 1

市民環境力の更なる発展とすべての市民に支えられた「北九州環境ブランド」の確立

### ○アジアの環境人材育成拠点形成事業

アジア地域の国・都市が自らの力で環境改善の取組を進めることができるよう、JICAや関係機関と連携し、国際環境研修を実施。

令和4年度は、目標460人に対し321人に研修実施。

### ○Horasisアジアミーティングの開催

スイスのチューリッヒに本拠を置く世界的なシンクタンクであるHorasisが開催するHorasisアジアミーティングを開催。

- ・開催日 令和4年11月20日(日)～22日(火)
- ・会場 北九州国際会議場他
- ・テーマ アジアにおける地域間協力、効果的な投資、持続可能な成長などアジアの将来像
- ・参加者 企業経営者や投資家など、23か国・地域から201名



5

## 政策目標 4

将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

### ○大気・水・土壌環境等の保全

環境法令に基づき、大気汚染や水質汚濁、騒音、振動などの監視測定を実施。

### ○工場・事業場監視事業

市内の工場・事業場に対し、環境法令に基づき、立入検査及び排ガス・排水中の規制項目に関する測定を実施。

市民からの公害関係の苦情・要望を受け、発生源に対する指導を実施。

令和4年度の公害に関する苦情・要望件数は222件であり、目標とする300件以下を下回って推移。

### ○橋梁・トンネルの長寿命化

市内の橋梁、トンネルの老朽化に対し予防保全の観点から計画的に長寿命化を実施。

6